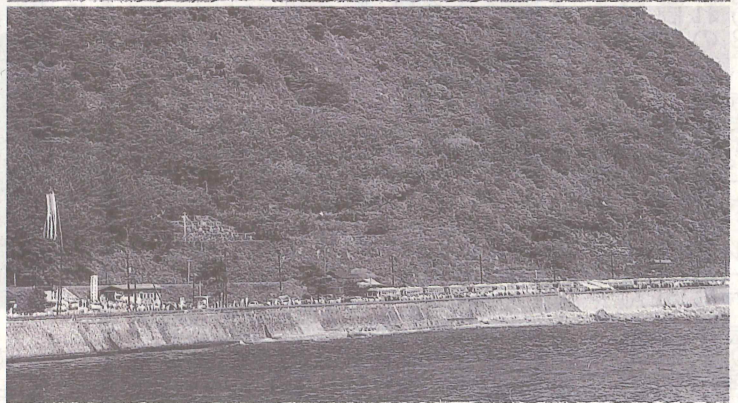
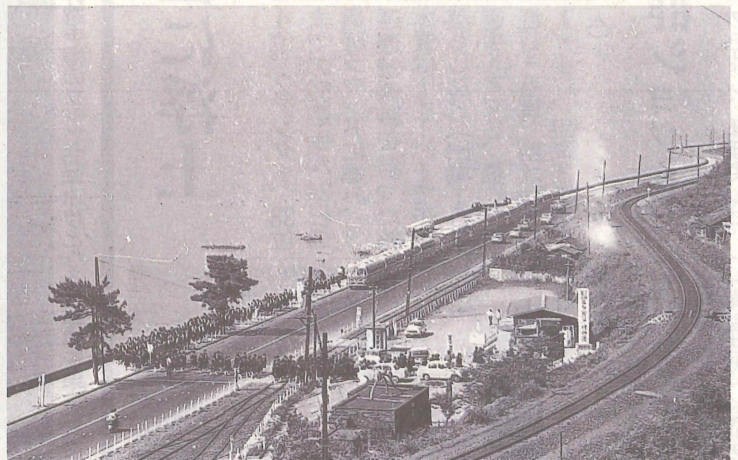




高崎山自然動物園の駐車場はかつては、同園入り口そばのわずかなスペースの1カ所だけだった。それに伴って生じた駐車場不足を解消するため大分市は、高崎山前の海を埋め立てて駐車場を設けた。そうしたことを前回紹介したが今回も関連の写真を並べたい。

1カ所だけの駐車場は国鉄(今のJR九州)日豊線と路面電車の線路(大分交通別大線、1972年廃止)の間にあった。■高崎山自然動物園入り口に向かう修学旅行生(上)の写真(上)、高崎山管理セン

## 多数の大型バス 列を作り



ター提供は62年5月の撮影。海岸線沿いの国道10号に大型バスが列を作り、バスから降りてきた修学旅行生が国道10号を横断、例のわずかなスペースの駐車場を通って入り口に向かっている様子がうかがえる。

■海岸線沿いに長蛇の列をなす大型バス」の写真(中、同)も同5月の撮影。海岸沿いの国道10号に多数の大型バスで列を作っているのが確認できる。63年春には一時、94台が並んだ例もあったという。大分市が、高崎山前の海を

埋め立てて有料駐車場を設ける工事に着手したのは63年3月。交通の安全確保と入園者の利便性向上のためにも必要な措置だった。■海を埋め立てて誕生した有料駐車場と大分生態水族館マリンパレス(当時)の写真(下、同は65年

4月の撮影。写真奥にあるのが有料駐車場で大型バスがずらりと並んでいるのが確認できる。手前の建物が大分生態水族館マリンパレス(当時)で64年10月に開館した。(原則、第2、4日曜日に掲載します)